

臼杵市 施策評価シート
(令和元年度)

評価 担当者	課名 建設課	氏名 高野 裕之	内線 2600
-----------	-----------	-------------	------------

コード	Ⅲ-8-15	施策名	防災・減災のための整備
施策の 方針	災害に強いまちをつくる		
まちづく の方針	自助・共助の精神を持った市民が暮らす、災害に強いまち(防災)		
施策の 目的	自然災害からまちや市民の生命及び身体を守るため、防災・減災対策の充実を図ります。道路・港湾・河川・ため池・急傾斜地の対策・上下水道施設など、災害に備える防災・減災対策としての整備を行います。また、地域住民と協働で危険区域及び避難場所や避難路の確認を行い、災害発生時の住民の適切な避難行動及び被害の軽減につなげます。		
施策の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災マップの作成により、危険箇所や河川警戒区域などの周知を行います。 ● 災害発生時に住民自らが適切な避難ができるよう避難誘導看板などの設置を行います。 ● 防災・減災対策としての道路・港湾・河川・ため池・上下水道施設などの環境整備を行います。 ● 臼杵市内の保全人家5軒未満の急傾斜地崩壊危険箇所を整備します。 		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						
			単位	H26	H27	H28	H29	H30	R1
急傾斜地崩壊対策事業の整備率	要望箇所に対する整備割合(市単独事業分)	目標 実績 達成率	%	8.0	26.0	31.0	39.0	46.0	
			%	8.0	8.0	23.0	37.0	54.0	46.5
			%	-	100.0%	88.5%	119.4%	138.5%	125.7%
危険箇所などの表示看板の設置箇所数	土砂災害や危険箇所のうち、看板を設置した箇所数	目標 実績 達成率	箇所	50	90	90	90	90	90
			箇所	40	90	90	90	90	90
			%	-	180.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ハザードマップを作成した「ため池」箇所数	警戒ため池27箇所のうち、ハザードマップを作成した箇所数	目標 実績 達成率	箇所	2	4	6	7	24	
			箇所	1	3	3	9	19	19
			%	-	150.0%	75.0%	150.0%	271.4%	211.1%
		目標 実績 達成率	%						
			%						
			%						
		目標 実績 達成率	%						
			%						
			%						
		目標 実績 達成率	%						
			%						
			%						

指標の分析 ため池のハザードマップ作成については、国の補助制度が受けられなかったため、作成することが出来ませんでした。

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果(R1調査)	維持領域	2.60	1.66	2.05
市民意識調査結果分析	住民とのワークショップにより作られた、ため池ハザードマップは、減災のための住民周知には有効な手段と考えられますので、今後も作成していきたい。			1.00

<次年度以降の課題>

令和2年度以降の課題	急傾斜地崩壊対策事業の整備は要望数に実施が追い付かない状態になっており今後も財政事情を勘案し、事業の推進を図っていく必要があります。ため池のハザードマップ作成については、国の補助制度が不可欠であり、予算確保に向けた取り組みが必要です。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長 評価	公共 力 年	他の 関連施策 コード
				H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み			
1 市町村急傾斜地崩壊対策事業	人家1戸から5戸未満の区域においての土砂災害未然防止事業	建設課		30,500	25,282	27,500	継続	○	
2 農村地域防災減災事業	ハザードマップの作成	農林振興課 農林基盤整備室	○	9,007	-	6,570	継続	○	
3 避難場所等看板設置事業	災害発生時に適切な避難ができるよう看板設置	総務課 防災危機管理室		-	-	-	完了		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				39,507	25,282	34,070			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	急傾斜地崩壊対策事業の整備は要望数に実施が追い付かない状態になっており今後も財政事情を勘案し、事業の推進を図っていく必要があります。ため池ハザードマップの作成は、県との連携を密にして有利な補助金制度の活用とワークショップ等による地区住民の啓発を行っていく必要があります。	課長評価
概ね順調		目標を達するため、現状維持とする

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

進捗状況		内部評価
-		-

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
	-

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--